

『どうしたらリンリンって鳴るんだろう？』 5歳児 7月 伏見こども園

リンリンって
鳴らしたい
(目的)



どんな音？
(確かめ)



リンリンじゃないね
(思いとの違い)



Aちゃんは「リンリンってなるマラカスをつくりたい」と、Bちゃんとゼリーカップに空き箱の切り刻んだものを入れ振って音を確認していました。Bちゃん「ザツザツザツって鳴ってるよ」Aちゃん「リンリンってなるものないかな」と、思うような音にならないため材料庫に使えるようなものを探しに行きました。Bちゃん「ストローを切って鳴らしてみよう」Aちゃん「ビーズも試してみよう」と、ストローやビーズ、おはじきなどを試すことにしました。

ストローを細かく切り、ゼリーカップに入れてCちゃんの耳で振ってみると、Cちゃん「カシャカシャって聞こえるよ」と近くにいたCちゃんと確かめていました。Aちゃん「ビーズは？」Dちゃん「シャカシャカかな…」Bちゃん「おはじきは、ジャンジャンって聞こえる」Aちゃん「どうしたらリンリンになるんだろう」と悩み始めた時片付けの時間になり、Bちゃん「みんなにも聞いてみよう」と、話し合いで取り上げることにしました。

リンリンって鳴らないんだよ
(困り感、悩み)



マラカスの音は…
(確かめ)



スズをテープで貼ったら
リンリンって鳴った
(喜び、達成感)



やっぱりスズの音がリンリン！
(発見、喜び)

話し合いでは、一つ一つの音をみんなで聞きながらどんな音が鳴るのか確かめました。一つずつ音を聞いたみんなは「リンリンって鳴ってないよ」と言うとEくん「リンリンってスズみたいな音」Fくん「マラカスみたいな音とは違うよね？」と話し始めたので、すぐにスズとマラカスを準備し、聞き比べました。「やっぱり、スズの方が良い」ということだったので、他の遊びで使っていたスズを1つカップの中に入れ、みんなで音を確認しました。「ゴロンゴロンって鳴ってて、ゴロンゴロンの奥の方でリンリンが聞こえる」と少し思っていた音と違い、またみんなで考え直しました。Gくんが「スズみたいな音にしたいからスズをカップにテープで貼ったらスズみたいになってカップにぶつからないようになると思う」と、新しいアイデアを伝えるとAちゃんが早速カップの中にテープを付け、スズを浮かすように貼り、音を鳴らしました。すると『リンリン』と音が鳴り、「鳴った!」とみんなで大喜びしました。

子どもの育ちや学び

- ・「リンリンって鳴らしたい」と、目的をもって様々な素材で音を確認する。
- ・思うような音になかなかならないため、近くにいた友達にも声を掛け、一緒に様々な素材の音を聞き比べし、自分達の思いを実現しようとする。
- ・思うようにいかないことを話し合いの場で友達に共有し受け止めながら、新しいアイデアを考えたり、試したりする。
- ・スズやマスカラなど実際に音を聞き、実物を見ることで、スズの付け方と音の鳴り方を結び付け考えた。

保育者の思い

- ・『リンリン』という音にこだわり、音探しを始めた子ども達ですが、『リンリン』とは、程遠い素材だな～と思いながらも、素材一つ一つの音を知るいい機会になりそうだなと思い、試そうとする姿を見守ったり、一緒に音を確認したりしました。
- ・話し合いで、スズやマスカラなどの言葉が子ども達から出てきたため、音を確認してほしいと思い、すぐに楽器を準備しました。
- ・「ゴロンゴロンの奥にリンリンがある」と言う言葉を聞き、リンリンって鳴っているのに納得していないんだ…と、さらに追究し考えようとしている子ども達の様子にすごいな…と、保育者も心が動かされました。実現できるまでみんなで話し合い実現した喜びを達成してほしいと思い、じっくり話す時間をとりました。

家庭だったら…

自分の思いを実現しようと子ども達のとことん追究する姿が家庭でも見られると思います。子どもの「なんでだろう」と悩む姿や追究する姿、経験の積み重ねが今後の学びにつながります。悩み壁にぶつかりながらも、自分達の思いを実現しようと考えたり試したりする姿を大切にしたいですね。